

## 冷害対策に努めます

本年の水稲の作柄は、平成5年  
以来の著しい不良となりました。  
特に、標高の高い中山間部では、  
被害が大きくなっています。

本市での被害状況は、JAあき  
た北及び北鹿共済組合の坪刈り調  
査の結果によると、平均の減収率  
は22・6%、金額にして約7億8、  
000万円の減収額と推定されて  
います。

そのため、市では金融対策とし  
て、被災農家の経営再建と再生産  
の確保に向け、天災資金、秋田県  
冷害対策資金、あきた北農業協同  
組合平成15年度冷害対策資金につ

いて利子補給を行います。

さらに、来年度以降の生産対策  
として、作付けの基本となる種子  
の確保のため、県の補助制度を活  
用した助成により、被害農家の負  
担の軽減を図ります。また、就労  
対策として、緊急農村整備事業を  
実施し、県と同率の助成を行って  
就労の場の拡大を図りたいと考  
えています。

なお、先の臨時議会で市民税、  
国民健康保険税に係る減免条例が  
議決されたので、広報などで周知  
しながら、被害の程度に応じた適  
正な減免措置を講じます。

## 市内企業の動向と雇用情勢

### 市内企業の動向

平成15年10月1日現在の大館市  
工場等設置促進条例に基づく指定  
工場における従業員数は、男性1、  
746人、女性842人の、合わ  
せて2、588人となっています。  
このうち、ニプロファーマ株式会  
社は233人、今年4月に操業を  
開始した株式会社木村食品工業で  
は70人体制となりました。指定工  
場全体では前年同期と比較すると  
260人増加しており、地域雇  
用の拡大に大きく貢献していただ

ています。

昨年4月の操業開始以来、増設  
を続け、去る11月4日に竣工披露  
宴を開催したニプロファーマ株式  
会社は、ニプログループが進める  
世界戦略のセンター工場として、  
今後の事業拡大とともに、将来の  
従業員500人体制に向けたさら  
なる雇用拡大も期待されること  
です。

また、株式会社プラスチック・  
ホンダが、今月から県営大館第二  
工業団地に新工場を稼働させてお  
り、株式会社伊徳では市営二井田  
工業団地の取得済み用地への総菜  
工場建設を計画中です。

さらに、国道7号沿いの松原地  
内において、現在工場を建設中の  
秋田ウッド株式会社は、廃プラス  
チック・廃木材を利用した新建材  
製造事業では、10人を新規雇用し  
て今月から試験操業を開始し、最  
終的には20人以上の体制とする予

定です。

いずれも将来の事業拡大・雇用  
拡大に大いに期待しています。

雇用情勢  
ハローワーク大館管内における  
来春高卒予定就職希望者の10月末  
現在の内定率は、57・3%と前年  
同期比10・5ポイント下回ってい  
ます。男女別では、男子が67%、  
女子47%と、女子の内定が進んで  
いません。県全体での内定率43・  
4%を大きく上回っているものの、  
今年は求人絶対数が不足しており、  
これまでになく厳しさとなっ  
ています。

また、有効求人倍率は0・57倍  
で、前月から0・02ポイント上昇  
していますが、企業ではパート職  
員への切替えなど、雇用体系の  
変化も見られます。今後、ハ  
ローワーク大館など関係機関と連  
携し、雇用の場確保に向けて努力  
します。

## そのほかの報告

債権管理委員会の設置

家庭生ごみの堆肥化

平成15年度の農業

第6回大館圏域産業祭

秋まつり行事

忠犬八千公生誕80周年記念事業

第10回首都圏大館ふるさと会総会

湯夢湯夢の里温水プールでの事

故

第13回大館市生涯学習フェステ

イバル

大館市立総合病院増改築事業に

係る実施設計の契約

公共事業の進行状況



廃プラスチック利用新建材製造工場の秋田ウッド(株)